

市長あいさつ

皆さんこんにちは。

今月13日、気象庁から、冬の訪れを告げる「木枯らし1号」が東京で吹いたとの発表がありました。朝晩の冷え込みも厳しくなっておりますので、体調管理には十分ご留意いただきたいと思います。また、例年寒くなりますと、暖房器具が原因の火災も増えてきます。体調管理と併せて、暖房器具の取り扱いにも十分ご注意くださいようお願いいたします。

さて、市ではデジタル化を推進しており、この度、市役所における各種証明書の発行手数料の支払いにキャッシュレス決済が利用できるようになりました。普段の買い物でキャッシュレス決済を利用する方も増えてきており、窓口での利便性向上につながるものと考えます。

一方、デジタルツールに興味はあるものの使い方が分からない方に向けては、誰も取り残さない、寄り添う気持ちでスマートフォンの活用を支援する体験教室や職員による相談会を開催しています。

デジタル化を推進するとともに、多くの方がその利便性を享受できるよう取り組んでまいりたいと思います。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、令和5年第4回取手市議会定例会議案についてです。

会期は、11月29日からとなります。

定例会に提出する議案は、条例の一部改正が4件、市道路線の認定が1件、令和5年度補正予算が6件の計11件となります。

条例の一部改正は、「取手市監査委員条例及び取手市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例」など4件を提案いたします。

続いて、令和5年度補正予算のうち、一般会計補正予算第8号及び第9号についてご説明いたします。

一般会計補正予算第8号の総額は、9億2,033万4千円の増額で、補正後の予算総額は、459億6,446万8千円となります。

内容は、物価高騰への対応として国が実施する低所得世帯に対する7万円の給付のため、必要な経費を補正するものであります。

次に、一般会計補正予算第9号の総額は、10億3,281万4千円の増額で、補正後の予算総額は、469億9,728万2千円となります。

歳出予算の主な内容は6点ございます。

1点目は、扶助費の増額です。障害者自立支援給付費、生活保護費、障害児通所給付費などの扶助費が増えていることから、2億6,100万円を増額いたします。

2点目は、民間福祉施設の設備整備に対する補助でございます。特別養護老人ホームめぐみの杜が施設の大規模改修に合わせて行うICT機器の整備や、私立保育園・幼稚園のICT業務システム導入に対して補助金を交付するため、3,582万8千円を計上します。

3点目は、ふるさと取手応援寄附金推進事業です。寄附金額の増が見込まれることから、4億5,000万円を増額いたします。

4点目は、人件費の増額です。人事院勧告等及び決算を見込んだ現員・現給の調整による給料・諸手当・共済費等を補正するため、7,210万1千円を増額します。

5点目は、樹木病害虫被害対応業務委託料です。市内西部地区を中心に病害虫「カシノナガキクイムシ」による樹木の^{こし}枯死等の被害が確認されていることから、被害木への対応に要する経費として997万6千円を計上します。

6点目は、わくわく取手生活実現事業の増額です。東京圏から取手市への移住に対して県と共同で支援金を支給する「わくわく取手生活実現事業」において、申請者数が増えていることから、596万8千円を増額いたします。

第4回取手市議会定例会議案の説明は、以上となります。

次に、「自転車ツーキニストが教える自転車安全運転講演会&学校特別授業」についてです。

市では今年7月に取手市自転車活用推進計画を策定し、自転車を通じた「安全安心」、「観光振興」、「健康増進」、「環境整備」の推進に取り組み、自転車の普及促進を図っております。

この度、計画の策定にご協力いただきました自転車専門家の^{ひきたさとし}疋田 智先生を講師にお招きし、令和6年2月2日 金曜日に取手ウェルネスプラザで、自転車安全運転講演会を開催いたします。

また、小・中学生にも自転車を安全に利用していただくため、学校に出向いての特別授業も実施いたします。

講演会や特別授業を通じて、多くの皆さまに自転車に乗る際のルールや魅力、楽しみ方を学んでいただきたいと思います。

以上で、私からの説明を終わります。